

政 策 6

～安心して子どもを生み、健やかに育てることができるようになります～

後期基本計画に定める指標値「めざそう値」等一覧

【めざしたい将来像】

地域ぐるみで子育てを支援し様々なサービスが選択できるようにすることによって、子育てしやすく、子どもの笑顔があふれる街まつどを実現します。

指 標		21年度	22年度	25年度	27年度 現状値	28年度 (注1)	32年度 (注2)
子育ての満足度	めざそう値 (目標)	—	91.0%	90%	—	90%	90% (※)
	実績値	79.0%	90.6%	91.4%	91.3%		
就労希望はある が保育サービス が利用できない ため就労してい ない人の割合	めざそう値 (目標)	—	—	6%	—	5%	5% (※)
	実績値	6.7%	6.7%	6.9%	4.2%		
合計特殊出生率	めざそう値 (目標)	—	1.29	1.31	—	1.32	1.33
	実績値	1.29	1.29 (21年)	1.30 (24年)	1.30 (26年)		

(注1)平成28年度のめざそう値は、第5次実施計画でめざす目標値です。めざそう値(28年度)設定の考え方は、第5次実施計画に設定した「めざそう値」の指標解説によります。

(注2)平成32年度のめざそう値は、後期基本計画書に記載しているめざそう値を記入しております。その中で“(※)”の表記のあるものについては、第6次実施計画策定時に平成27年度の現状値などを踏まえ見直します。

政策6

安心して子どもを生み、 健やかに育てることができるようにします

1.安心して出産できるようにします

1. 現況と課題

本市の合計特殊出生率は1.30(平成26年)と全国平均である1.42を下回っており、出生数の減少も続いています。第1子出生児の母の平均年齢については、高齢化がすすみ、平成25年は30.4歳となっています。

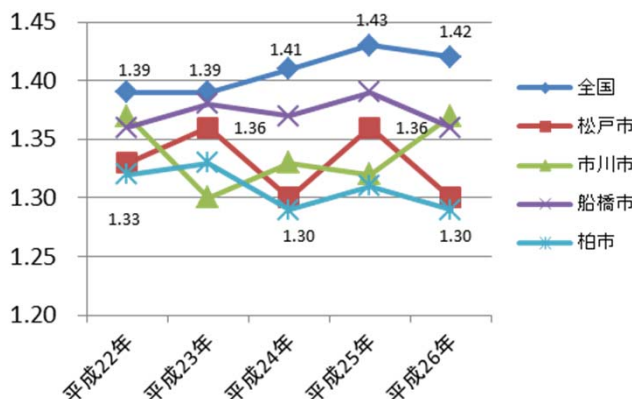
平成26年3月の松戸市子ども・子育て支援に関するアンケート調査報告書によると、未就学児の保護者の子育ての気持ちは、「子育てについて不安になったり悩むことがある」と思う保護者も多く、平成21年の調査では54.0%だったのに対し10.1%増の64.1%となっています。一方で、「子どもがいると毎日楽しい」「自分も成長している」など子育てを肯定的に考えている方が多いことがわかります。また、乳幼児と接する機会のないまま親になる世代が増加しています。

妊娠中は、出産後の子育てまで考えが及ばない場合もあります。特に初妊婦や周囲に子育てを支援してくれる人がいないなど、不安を抱えながら子育てを行うことにつながりやすい状況も見受けられます。

【特筆すべきニーズの変化】

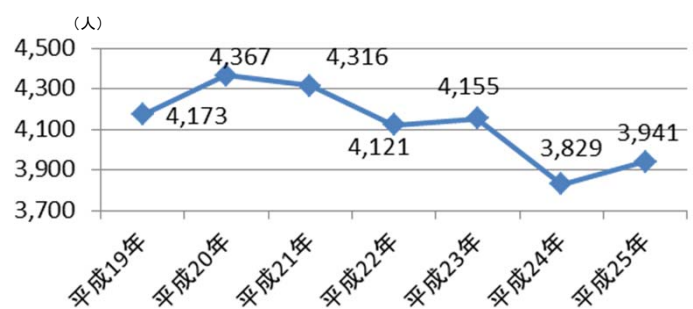
- ・安心して子どもを産み育てられる環境整備が望まれています（ニーズの増）

● 合計特殊出生率の全国・近隣市比較



出典：厚生労働省統計書、千葉県統計書より

● 市内出生数の推移



出典：松戸市統計書から抜粋



● 第1子出生時の母の平均年齢の推移(歳)



出典：厚生労働省統計書、千葉県統計書より

2. 施策の展開方向

妊娠中の早い段階から、専門職が母親の抱く不安に寄り添い、支援を必要とする方に対して利用できる母子保健サービス等の情報提供やサービスへつなぎます。また、個々の生活に即した子育て環境づくりを、関係機関と連携しながら支援の体制を整えていきます。

また、初めて母親・父親になる方が妊娠中を健やかに過ごし、安心して出産し、育児のイメージがもてるような機会をつくります。

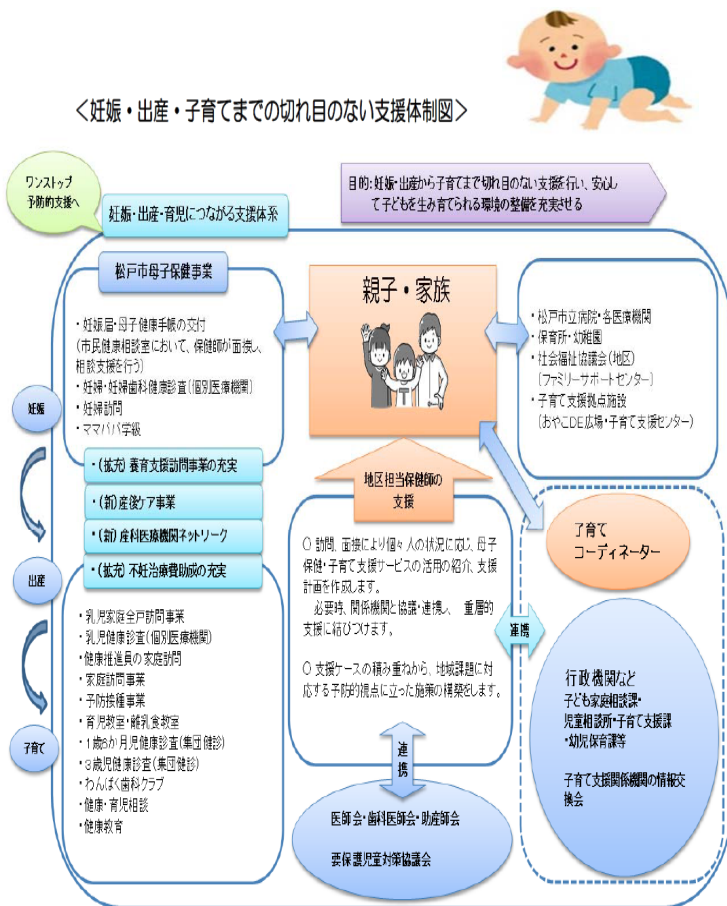
3. 施策を推進していく上での課題

妊娠から出産・育児期にかけて実施されている各種サービスや制度を市民にわかりやすく伝えることや、個別支援の必要な方を把握し、妊娠中から出産・育児期まで切れ目ない支援をコーディネートする体制を構築していくことが必要です。

産科医療機関との連携を強化し、関係機関とのネットワークの構築を進め、妊産婦への支援を充実させる環境づくりが必要です。

【特筆すべき松戸の強み・弱み】

- ①母子健康手帳交付時には、妊娠初期から必要な母子保健・育児支援情報の提供や相談を必ず保健師が行います（強み）
- ②乳児健康診査（3～4か月・6～7か月・9～10か月）と乳児股関節健診の計4回の健康診査を実施していることなど、1歳になるまでの発育、発達状況を確認するための仕組みがあります（強み）



出典：松戸市子ども総合計画

ママパパ学級のご案内

（二人で出産・子育てを）



松戸市では、初めてお母さん・お父さんになる方が、マタニティライフを健やかに過ごし、また育児のイメージがもてるようにママパパ学級を行っています。地域のママ友達、パパ友達ができる機会にもなります。ぜひ、お二人でご参加ください（お一人でも参加できます）。

内容 3日間で1コースです。

1日目	ママと赤ちゃんの食生活 （野菜・カルシウムがとれるメニューの試食もあります）【担当：栄養士】
参加の目安	16週～32週
16週～32週	赤ちゃんへの贈り物～みんなのための口腔ケア～【担当：歯科衛生士】
2日目	パパも妊婦に变身・妊婦体験 赤ちゃんを迎えての生活
参加の目安	24週～32週
24週～32週	育児体験実習（お風呂の入れ方、替え、おむつの替え方など） 参加者同士の交流【担当：保健師】
3日目	参加者同士の情報交換 先輩ママ・パパ・赤ちゃんとの交流
参加の目安	16週～32週
16週～32週	松戸市の育児支援情報のご紹介【担当：広場スタッフ・子育てコーディネーター】

出典：子ども家庭相談課母子保健担当室



政策6

安心して子どもを生み、 健やかに育てることができるようにします

2-1.健やかに子どもを育てるようにします

1. 現況と課題

平成26年3月の松戸市子ども・子育て支援に関するアンケート調査報告書によると、未就学児の保護者の子育ての気持ちは、「子育てについて不安になったり悩むことがある」と思う保護者も多く、平成21年の調査では54.0%だったのに対し10.1%増の64.1%となっています。一方で、「子どもがいると毎日楽しい」「自分も成長している」など子育てを肯定的に考えている方が多いことがわかります。

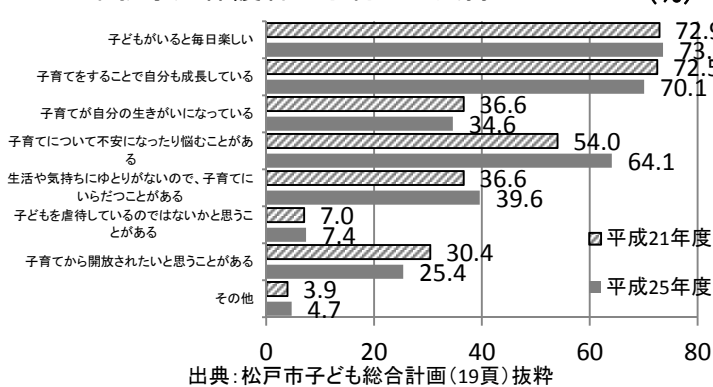
また、子育て中の保護者は、国や自治体に対して子育てにかかる経済的な支援を引き続き求めていることもわかりました。

児童虐待対応件数が増加していることや子どもの貧困に関する取組みの必要性が高まっていることなど、難しい問題に直面している家庭における個別のニーズに対して、きめ細やかな支援も充実させいくことが重要になっています。

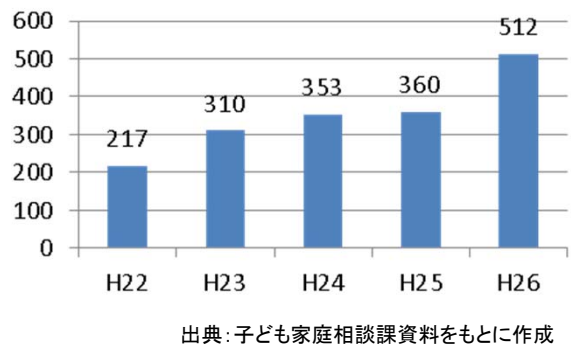
【特筆すべきニーズの変化】

- ・育児中の保護者の負担や不安を軽減し、支援を必要とする家庭への多様な支援が求められています
(ニーズの増)

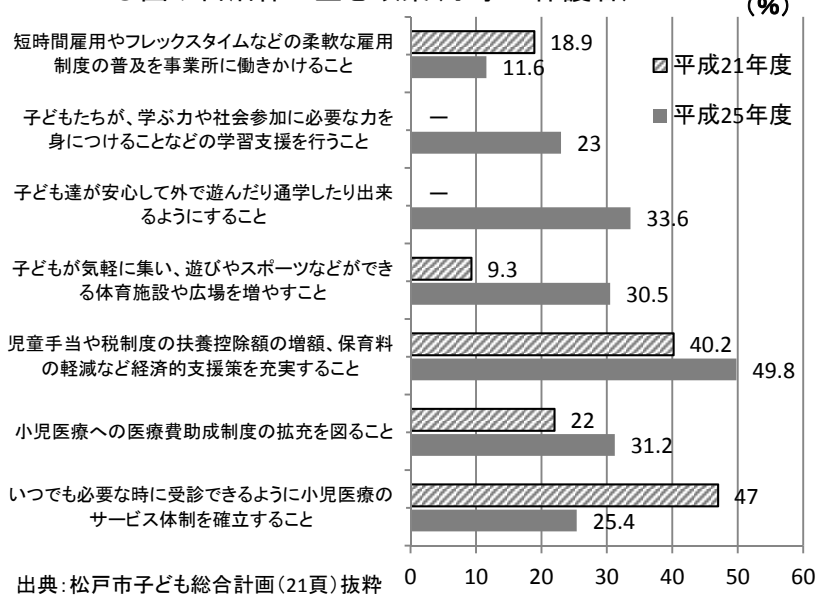
●未就学児保護者の子育ての気持ち (%)



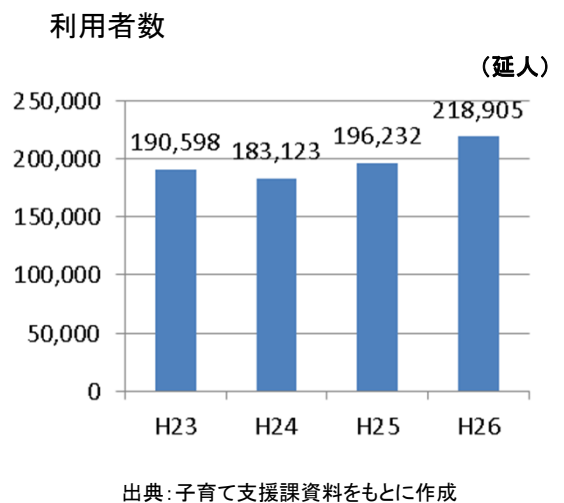
●松戸市の児童虐待対応件数 (件)



●国や自治体に望む政策(小学生保護者) (%)



●おやこDE広場・子育て支援センター



2. 施策の展開方向

家庭・家族が子どもにとって安らげる場であるために、ニーズに応じたきめ細やかな支援により、健やかに子どもを育てよう社会全体で応援していきます。

誰もが抱える子育てへの不安を解消できるように、これまでも子育てコーディネーターやおやこDE広場など、相談支援体制、保護者の交流の場、乳幼児が自由に遊べる場を整備してきましたが、これらをより身近に、より満足度の高いものに充実させ、子育て環境を豊かにしていきます。

また、これまでも子育てに関する経済的負担感があるところですが、経済的な支援について引き続き検討していきます。

子どもの貧困対策については、関係部門の情報共有と連携を図り、支援施策を検討、実施していきます。

虐待、障害、外国籍など特に配慮の必要な課題を抱えている家庭への支援については、地域全体で連携を図り、ニーズに応じたきめ細やかな支援を強化、充実していきます。

3. 施策を推進していく上での課題

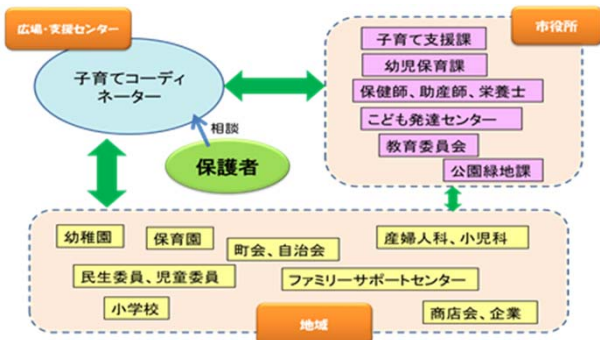
子育てコーディネーターやおやこDE広場などの場をより気軽に利用できるように、また、利用してよかったですと感じていただけるように、これまで同様に場を整備し、多様なニーズへの子育てコーディネーターの対応力を高める必要があります。

ひとり親家庭や虐待の恐れのある家庭など特に支援の必要な家庭に対し、地域の様々な方々の協力を得て、その連携を強め、地域全体で子育てに関わる意識・取組を広めることが必要です。

【特筆すべき松戸の強み・弱み】

- ①地域の身近な場所で、子育てに関する情報入手や相談が気軽にできる相談体制があります（強み）
- ②ひとり親家庭の支援において、個別相談できる母子・父子自立支援員や就業支援専門員がいます（強み）
- ③児童虐待に対する各種機関の連携体制があります（強み）

● 子育てコーディネーター事業(利用者支援事業)



出典：松戸市子ども総合計画(62頁)

● 松戸市の児童虐待対応体制図

要保護児童対策地域協議会 (子どもを守る地域ネットワーク)

児童虐待等による要保護児童等の早期発見・早期対応のために、関係機関が情報や支援方針を共有し、連携して対応支援することを目的として平成18年10月に設置しています。

◎構成機関

- 国 千葉地方法務局松戸支部
- 県 柏児童相談所
松戸警察署、松戸東警察署
- 市 幼児保育課、子ども家庭相談課
生活支援1課、生活支援2課、障害福祉課
学務課、指導課、教育研究所、松戸市立病院
- 関係団体 松戸医師会、松戸市歯科医師会、
松戸青年会議所、松戸市社会福祉協議会、
松戸市民生委員児童委員協議会、
松戸市保育園協議会
松戸市私立幼稚園連合会、松戸市PTA連絡協議会
松戸市小学校校長会、松戸市中学校校長会 など
- 学識経験者

出典：子ども家庭相談課資料をもとに作成

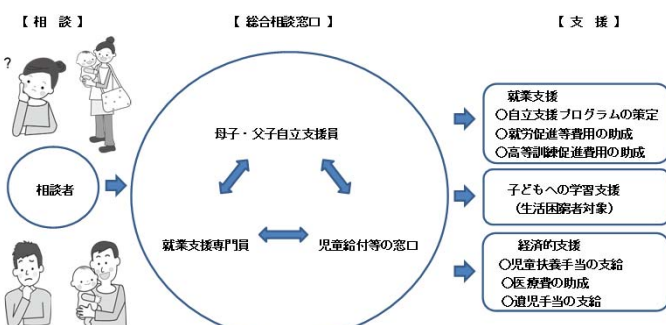
●母子・父子自立支援プログラム策定の実績

平成27年4月～12月
面談数：209回

結果
就職：20人
転職：10人
増収：6人

出典：子育て支援課資料をもとに作成

●ひとり親家庭へ総合的な支援をするための相談体制



出典：子育て支援課資料をもとに作成

政策6

安心して子どもを生み、
健やかに育てることができるようにします。

2-2.健やかに子どもを育てるようにします

1. 現況と課題

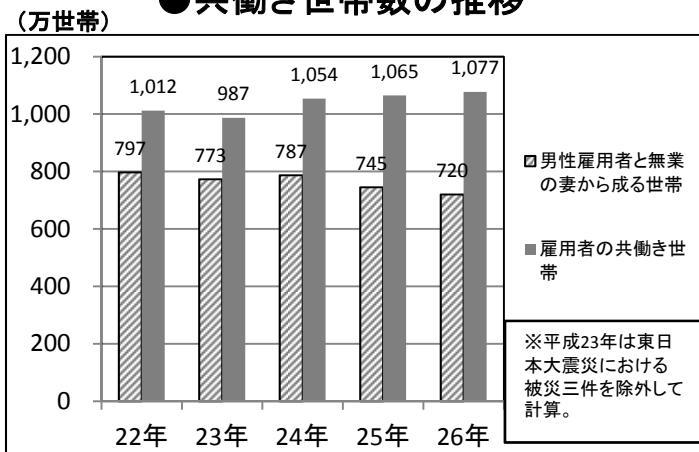
平成26年3月の松戸市子ども・子育て支援に関するアンケート調査報告書によると「子どもが行政に期待する施策」として、子ども達は学校や地域の中で安心して安全に活動できる場所や自分達の居場所を求めるニーズが高まっており、これらのニーズに対応する必要があります。

また、子ども達を取り巻く環境は、共働き世帯の増加や核家族化など家族環境等の変化などに伴い、子どもを見守りにくい環境となってきました。少年センターの補導件数や千葉県警察本部少年課が示した少年非行概況（平成26年）からもわかるように、喫煙や深夜徘徊などを行う不良行為少年の人数は依然多い状況があります。

【特筆すべきニーズの変化】

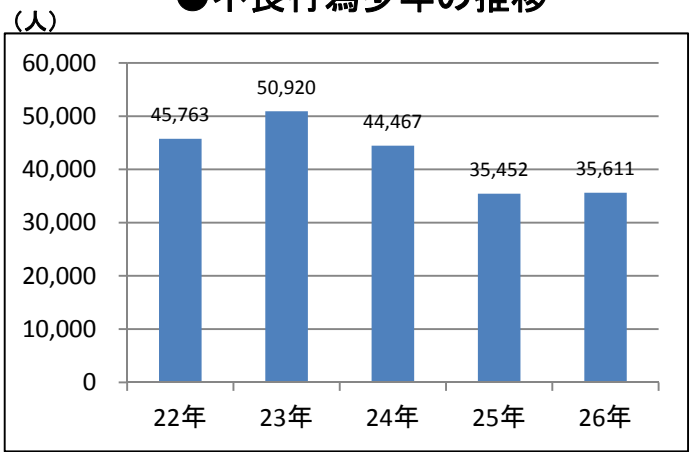
- ① 子どもが問題行動や犯罪に巻き込まれないように、健全育成活動が求められています（ニーズの増）
- ② 地域活動に子ども達が参加できる環境整備が必要になっています（ニーズの増）
- ③ 子ども達の居場所が必要となっています（ニーズの増）

●共働き世帯数の推移



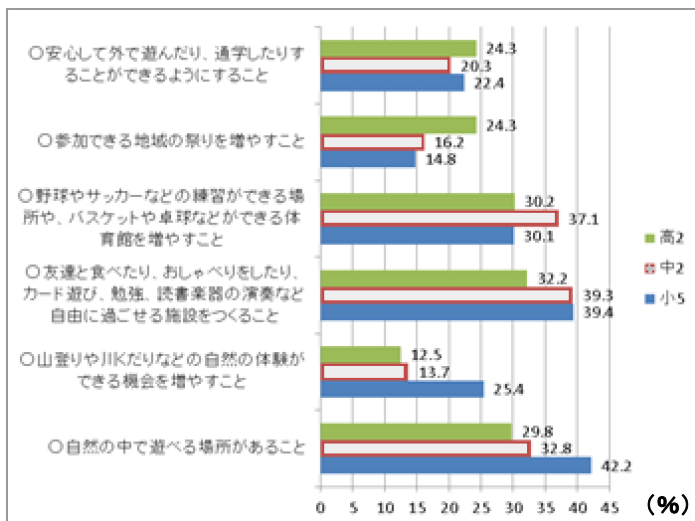
出典：内閣府男女共同参画局「男女共同参画白書」より作成

●不良行為少年の推移



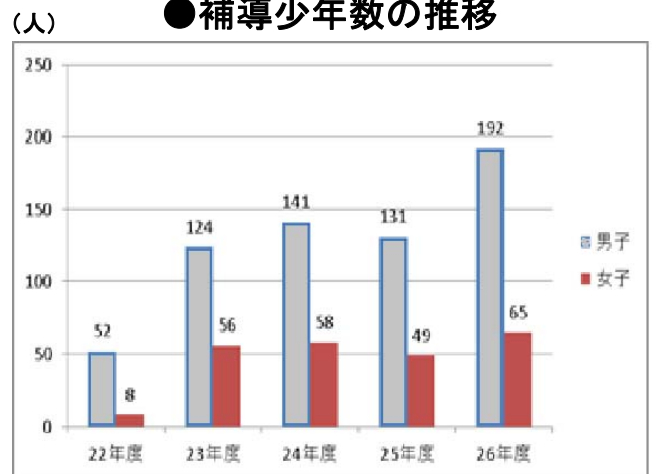
出典：千葉県警察本部少年課「少年非行概況（平成26年）」より作成

●子どもが行政に期待する施策



出典：松戸市子ども総合計画(23頁)より一部抜粋

●補導少年数の推移



出典：子どもわかもの課 少年センター

2. 施策の展開方向

子ども達が安心して安全に生活を送れるように、地域全体で子ども達の健全育成に取り組んでいきます。

学校や家庭だけでは支えきれない子どもへの支援を強化、充実するために、少年センター、学校、民生委員、児童委員等と連携して取り組んでいきます。

また、安心していきいきと過ごすことができ、自主的な活動や子ども同士の交流を図れるような子ども達の居場所づくりを推進し、子ども達が自分の夢を描けるよう、自己形成に大切な学びや体験ができるよう支援して参ります。

3. 施策を推進していく上での課題

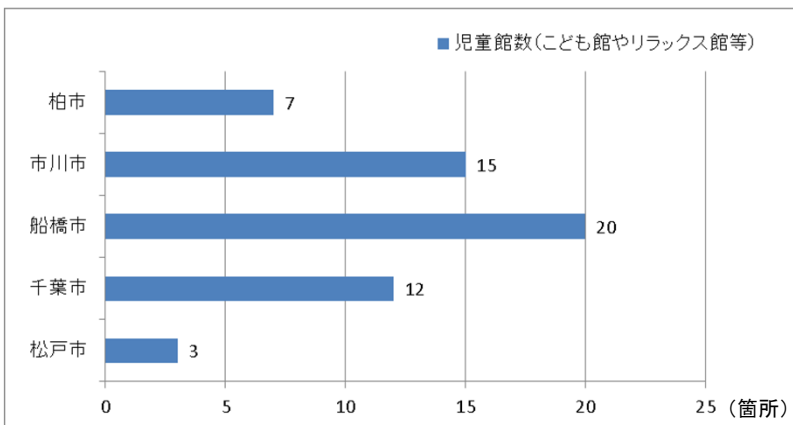
学校や家庭だけでは支えきれない子どもへの支援を地域全体で取組むために、必要な地域における人材育成を図る必要があります。

小・中・高校生がそれぞれの成長段階で、安心していきいきと過ごすことができ、自主的な活動や子ども同士の交流が図られるような児童館などの居場所を整備する必要があります。

【特筆すべき松戸の強み・弱み】

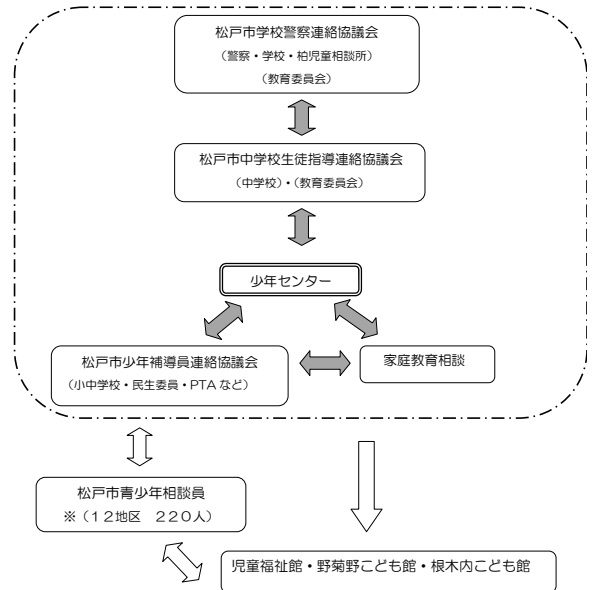
- ① こどもフォーラムを開催し、子ども達からのアイデアや意見を松戸市の事業に取り入れ、行政に参画する機会があります（強み）
- ② 子どもたちを見守るために、関係機関との連携体制があります（強み）
- ③ 子どもたちが活動する拠点が不足しております（弱み）

●児童館数(こども館等含む)



出典:各市公式ホームページより作成

●少年センターと関連機関の連携



出典:松戸市子ども総合計画(52項)

●子どもが参画する機会 (子どもフォーラム)



出典 子どもわかもの課資料

●子どもが参画する機会 (ゲットユアドリーム)



出典 子どもわかもの課資料

●こども館の活動 (森のこども館)



出典 子どもわかもの課資料

政策6

安心して子どもを生み、
健やかに育てることができるようにします

3.家庭と仕事を両立できるようにします

1. 現況と課題

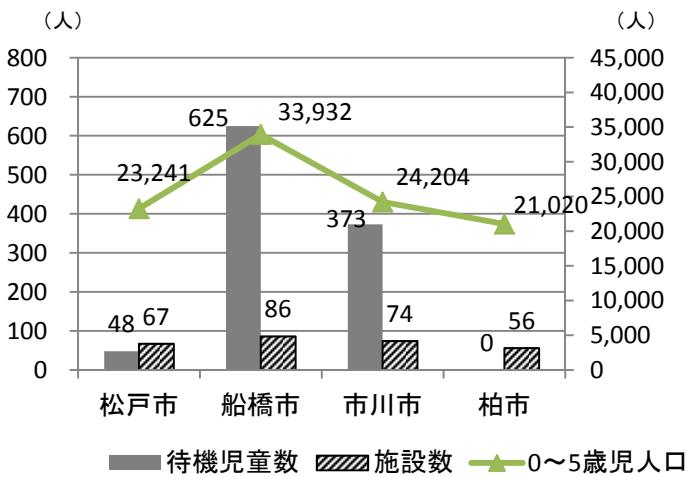
平成25年度に実施した松戸市子ども・子育て支援に関するアンケート調査報告書によると現状の未就学児保護者の就労状況として、0歳児37.6%、1～2歳児44.4%、3～5歳児46.3%の保護者（母）が就労しています。また、現在就労していない保護者の就労希望としては、すぐにでも、もしくは1年以内に就労希望がある人が、父親で70.6%、母親で16.4%となっています。

こうしたことから、子育て中の保護者が働き続けることや働き始めることを応援するための保育や子育て支援の充実が必要とされています。

【特筆すべきニーズの変化】

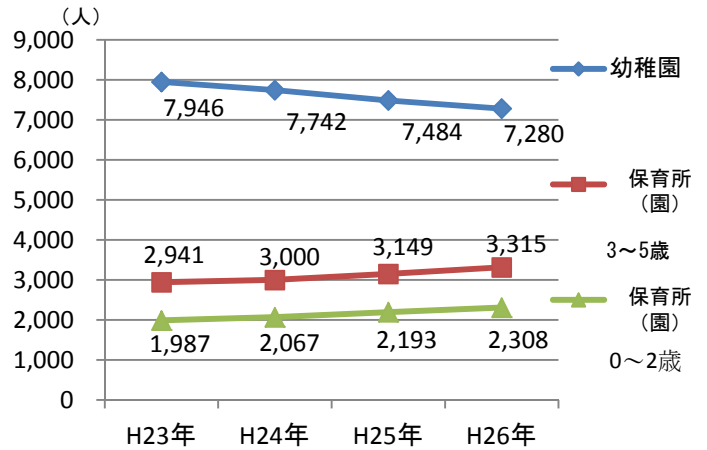
- ・就労する保護者のために保育環境を整えることが望まれています（ニーズの増）

●保育所待機児童の近隣市比較（H27.4.1現在）



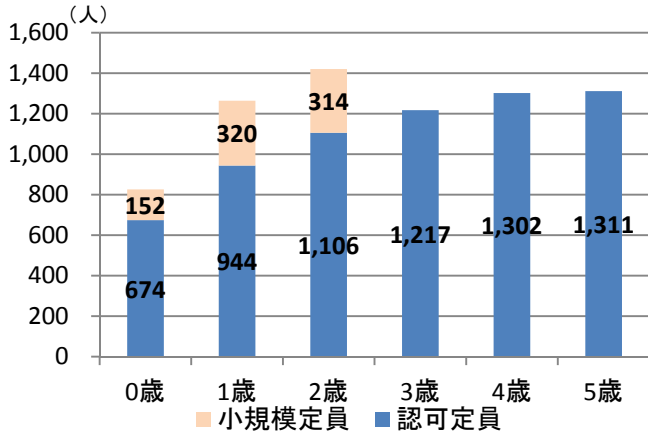
出典：千葉県及び、各市ホームページ資料を基に作成

●保育所（園）の入所児童数と幼稚園在園児数



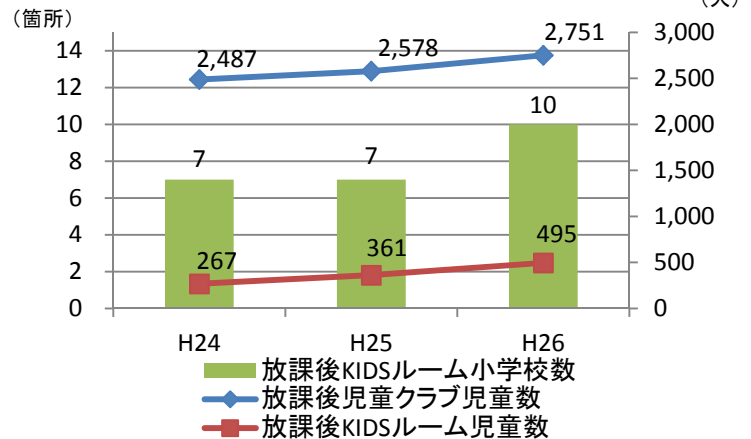
出典：松戸市子ども総合計画(11頁)

●保育施設の定員見込み（H29年4月予定）



出典：幼児保育課資料をもとに作成

●放課後児童クラブ・放課後KIDSルーム利用状況



出典：子育て支援課資料をもとに作成
各年度3月末

2. 施策の展開方向

経済的な理由や意識の変化によって、子どもが小さいうちから就労を希望する女性が増えていることから、保育所や放課後児童クラブの利用がしやすくなるような環境整備を進めていきます。また、様々な子どもの状況に合わせた保育や子育て支援ができるようにしていきます。

なお、保護者の家庭と仕事の両立にあたっては、なによりも、子どもの成長を中心におくような相談体制や子育て支援の仕組みづくりを進めていきます。

3. 施策を推進していく上での課題

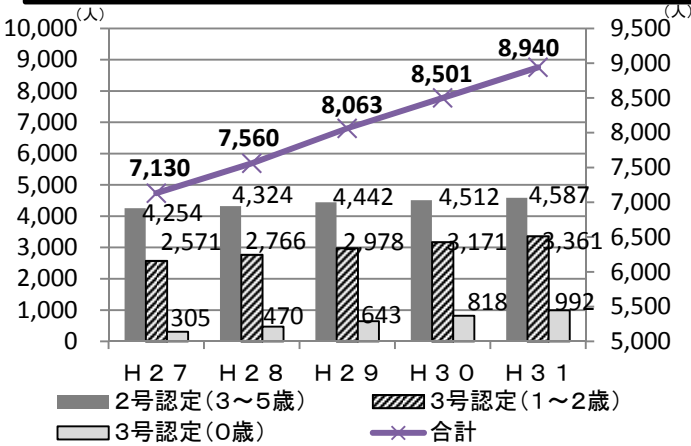
小規模保育事業所（0～2歳）の整備に伴う3歳児以上の円滑な受入れ先の確保、就労する保護者のための保育需要を満たすと共に、民間保育園をより良い運営を支える保育士を確保することなどが課題です。

【特筆すべき松戸の強み・弱み】

- ①小規模保育事業所の整備による0歳から2歳児の受入増（0から2歳児の待機児童数の減少→強み）
（3歳児の受入施設が相対的に減少→弱み）
- ②保育所（園）入所児童数の増加（保育施設の不足→弱み）
- ③保育士の不足（待機児童増加→弱み）

●推計人口に基づく教育・保育の量の見込み

【概要】 H28年度の保育需要見込み 7,560人
H31年度の保育需要見込み 8,940人

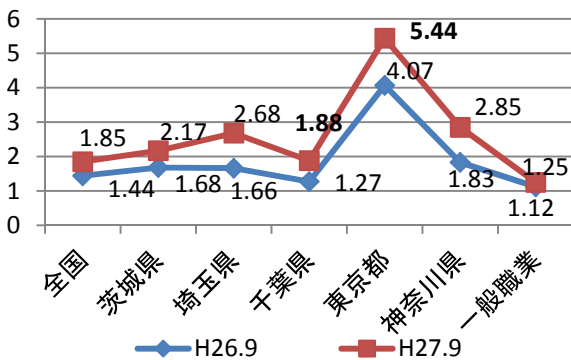


認定区分	対象	利用する教育・保育
2号認定	3歳以上	就労など保育の必要な事由に該当し、保育園などでの教育・保育を希望する方
3号認定	3歳未満	保育園、認定こども園、小規模保育事業など

出典：松戸市子ども総合計画(100頁から103頁抜粋)

●保育士の有効求人倍率（抜粋）

【概要】 求人倍率 東京都 5.44倍
千葉県 1.88倍

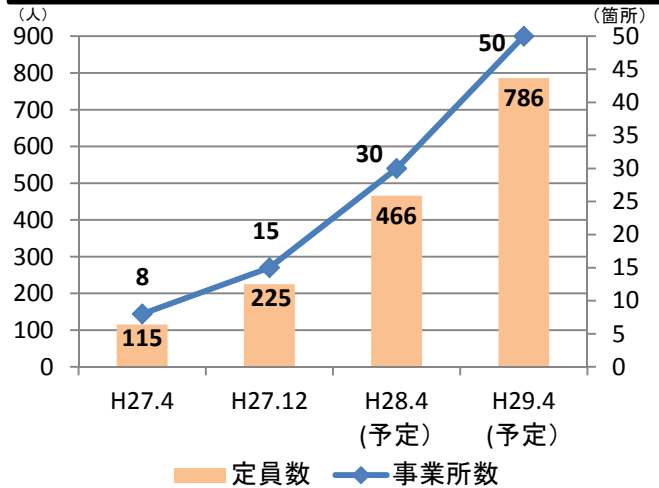


※求人倍率＝求人数／求職申込件数

出典：第1回保育士等確保対策検討会 資料4 3頁
及び、一般職業紹介状況抜粋

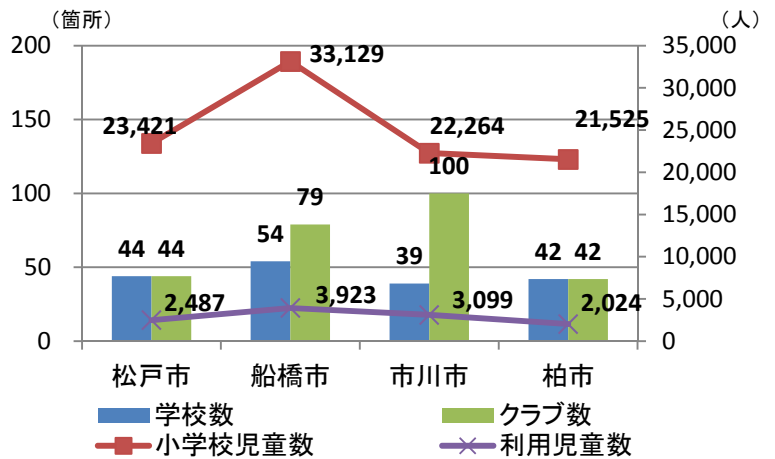
●小規模保育事業所と定員数

【概要】 小規模事業所 50箇所・定員数 786人
(H29年4月予定)



出典：幼児保育課資料をもとに作成

●放課後児童クラブの近隣市比較 (H26.5.1現在)



出典：子育て支援課資料をもとに作成